

大規模土砂災害対策技術センターシンポジウムを開催しました！

紀伊半島大水害から15年～紀伊半島から広がる砂防技術～

砂防、地域と共に。

— Never forget 紀伊半島大水害2011 —

R8. 9. 1

○平成23年9月の紀伊半島大水害から15年の節目にあたり、和歌山県那智勝浦町において大規模土砂災害対策技術センターシンポジウムを開催しました。
○シンポジウムでは、最新の調査研究成果や技術開発、防災教育の取組を紹介し、土砂災害による被害軽減と安全・安心な地域づくりについて参加者とともに考える機会となりました。

日時：令和8年8月23日（日）13:00～15:30
場所：那智勝浦町体育文化会館
主催：国土交通省、和歌山県、那智勝浦町
参加者：約230名（うちWEB約50名）

開会式典

国土交通省、和歌山県、那智勝浦町など県内外の市町村長や地方議会議員等多数の出席のもと開会



国土交通省砂防部長
國友 優



和歌山県知事
宮崎 泉



那智勝浦町長
堀 順一郎



全国治水砂防協会理事
二階 俊博

基調講演

テーマ：
「古代より人々は紀伊半島に
何を見てきたのか？」

主な講演内容

- 紀伊半島の地質的特徴
- 地質と歴史文化との関わり
- 地域資源としての価値と継承



講演者：巽好幸（ジオリブ研究所 所長）

那智勝浦町市野々小中学生防災学習の取組



- 主な取組内容
- 紀伊半島大水害の経験と教訓を次世代へ継承
 - 学校・地域が連携した防災学習を実施
 - 「学ぶ・伝える・行動する」防災意識を醸成
 - 地域防災力の向上に向けた取組を継続

展示

- 主な取組内容
- 直轄砂防事業の取組をパネルで紹介
 - 最新の観測機器や土砂災害模型を展示
 - 土砂災害への理解促進と防災意識の向上に貢献



土砂災害模型



直轄砂防事業説明パネル



投下型水位計

パネルディスカッション

「紀伊半島大水害からの大規模土砂災害への対応
～研究・啓発の観点から～」

コーディネーター：小杉 賢一朗（京都大学大学院 農学研究科教授、
大規模土砂災害対策研究機構委員長）

パネリスト：内田 太郎（筑波大学 生命環境系教授）
竹下 航（大規模土砂災害対策技術センター副センター長）
高原 晃宙（大規模土砂災害対策技術センター）
児玉 祥吾（和歌山県県土整備部河川下水道局 砂防課長）



主な討論内容

- 調査研究・技術開発の成果を共有
- 地域防災力向上に向けた取組を紹介
- 全国・世界への技術展開の重要性を確認
- 次世代を担う人材育成の必要性を共有

【問合せ先】国土交通省 近畿地方整備局 紀伊山系砂防事務所 調査課
〒637-0002 奈良県五條市三在町1681
TEL 0747-25-3111（代表）

